

超音波霧化分離 ラボ実験装置 USA-L5 CY/CO

このような“液体の分離・濃縮”を探している方にお勧めです！！

- 蒸留塔以外の新しい方法を探している
- 熱に弱い成分を分離・濃縮したい
- 設置場所が限られている

主な特長

霧化分離法は、気化エネルギーを利用せず、ミスト粒径・重量・生成速度の差異を利用する新しい液液分離法です。

- 超音波霧化分離の実験に必要な機器をコンパクトにセット！
- 熱や圧力で壊れやすい成分の分離や沸点が近い成分の分離に！！

【ご利用例】



化学溶剤の分離・濃縮



天然飲料の濃縮



再生可能エネルギーでの運用



廃ガスの清浄化



超音波霧化分離とは、

混合液に超音波を照射すると、分子量の違いなどにより、成分ごとの大小の霧状の液滴(ミスト)が発生します。これをサイクロンなどの分級装置を使って分けることで、沸点や圧力を利用せずに液液分離を行うことができます。電気のみで動作するため、ボイラーが不要で、また短時間での装置ON/OFFが可能です。

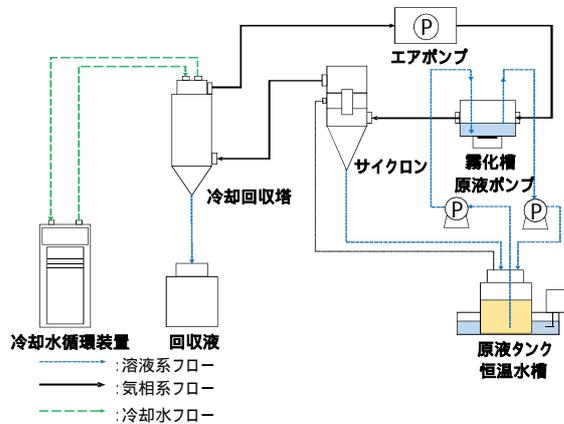


Fig1. 超音波霧化分離の流れ

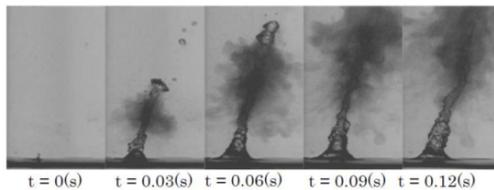


Fig2. 超音波霧化の様子 (0 ~ 0.12秒)

同志社大学 土屋克美先生提供

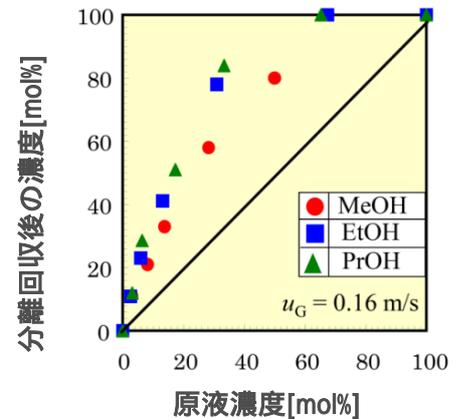


Fig3. 水 - アルコールの分離例

	Brix	
	濃縮前	濃縮後
原液	14.4	44.5
回収側	-	0.1

Fig4. 市販グレープジュースの濃縮 (液温 30℃)

仕様

■ 主な仕様

項目	内容
名称	超音波霧化分離 ラボ実験装置
型式	USA-L5-CY/CO
処理能力	200ml/hr (水50%、回収側にて測定)
寸法	W500 × D350 × H700 mm (エアポンプ、冷却循環装置を除く)
重量	約57Kg (冷却循環装置を除く)、約28Kg (冷却循環装置)
材質	SUS316L、パイレックスガラス、テフロン など
使用環境	屋内、周囲温度 10 ~ 30
電源電圧	AC100V (50/60Hz)
消費電力	約2.3KW
超音波振動子	1個
原液温度範囲	5 ~ 60
納品物	装置一式、完成図書、リファレンスマニュアル、保証書

■ 価格 (標準構成)

販売価格 : ¥5,600,000 (税別、送料・設置費用込み)

貸出価格 : ¥498,000 / 月、最低利用期間 3ヶ月 (税別、送料・設置費用込み)

■ 装置構成

機器	数量
本体	1
霧化槽	1
サイクロン	1
冷却回収塔	1
冷却水循環装置	1
恒温水槽(原液用)	1
ヒーター(原液用)	1
真空ポンプ	1
霧化槽温度計	1
霧化槽圧力計	1
回収瓶	1
原液瓶	1
接続管	1式
チューブ類	1式
サイクロンアタッチメント	1式

preliminary

20171010

1. 装置仕様は予告なく変更することがあります。
2. いずれも材質により対応できない液体があります。また超音波振動子は水道水のみが評価済みです。詳しくはお問い合わせください。
3. 標準価格は、2017年7月現在の日本国内向け価格です。
4. 本製品はナノミストテクノロジーズ社との共同開発・販売品です。
5. 記載された会社名、ロゴ、ブランド名、製品名、サービス名は商標または登録商標です。その他すべての商標および登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。



TOKYO ELECTRON DEVICE LIMITED

東京エレクトロデバイス株式会社
インレビウムカンパニー
インレビウムマーケティング部



【お問い合わせ】 下記「お問い合わせフォーム」をご利用ください

<http://www.inreivium.com/contact/index.html>

<本社> 神奈川県横浜市神奈川区金港町1番地4 横浜イーストスクエアTEL:045-443-4031